

桜中だより

長崎市立
桜馬場中学校
校長 大塚 潤

Sakura UP 地域活性化

地域を盛り上げるためには「好奇心」が大切

1月28日(日)に、メルカつきまちにおいて、「第23回青少年意見発表会」が開催されました。中央公民館区の小学校11人、中学校7人の皆さんが日ごろ身近な問題として捉えている「平和」「人権」

「まちづくり」「将来の夢」や希望等について堂々と自分の思いを発表してくれました。私も、18人の意見発表から感動と希望を抱かせてもらいました。本校からは、『Sakura UP 地域活性化』と題

して 君が堂々と発表してくれました。以下、西山君の発表内容を掲載します。

皆さんの地域では行事やイベントが盛んですか？ また、皆さんは地域を盛り上げるための行事に参



力強い発表、誇らしかったです。

加したことがありますか。私が住んでいる地域では色々な行事が盛んです。そこで、私が実際に体験してきた活動について紹介します。

まず1つ目が、竹ノ芸で有名な若宮くんちです。お神輿を担いだり旗を持つたり大鼓を叩いたりしました。そこでは、地域の方

大人の方だけではなく小学生、中学生、高校生など幅広い年代の方が参加してまつりを盛り上げていました。2つ目は校区まつりで、ステージの部のアナウンスを行いました。

地域の方々や先輩と協力しながら臨機応変に司会進行を務めました。3つ目は新大工で行われたイベントでスタッフとして参加したことです。そこでは、テントの設営や片付けなどをしました。

私は地域を盛り上げるためには1人1人の好奇心が大切だと考えています。「やってみようかな」「面白そうだな」という気持ちを持ち大切に、一歩踏み出すことが出来る、地域は変わっていくと思

います。そこで私が活動を通して成長したと感じたこと

を2つ紹介します。

まず1つ目が「コミュニケーション能力」です。地域行事は自分の知っている人だけが一緒にいるわけではありません。初対面の方々と話したり、協力したりすることが必要不可欠となってきます。

なので自然と「コミュニケーション力」がアップすることにつながっているのだと思います。

2つ目は「積極性」です。自分から進んでイベント事などに参加するようになる」と積極性が身についたと実感します。実はこの意見発表会への参加についても自ら進んで手を

上げました。これが何よりの証拠かもしれません。もちろん部活動や勉強の合間を見つけての活動は、楽な事では有りませんが、やってみるととても楽しかったです。それは地域に貢献することができているという実感が湧いてくるからです。また、達成感を感じたり、新しいことを学んだりすることが自分自身の成長に繋がっていると思えます。

はじめに「地域を盛り上げるためには1人1人の好奇心が大切」と述べま

したが、私も最初、少しめんどうさや迷いがあったりしました。ですがやってみようかなという好奇心から「やろう」と一歩踏み出せると、地域も盛り上がるって自分の成長にも繋がるのです。自分も成長できて地域も活性化する正に一石二鳥ではないですか！私が所属している桜馬場中学校の去年の生徒会のスローガンは「雲外櫻天×Team Sakura UP」といいま

す。一人ではなくワンチームでレベルアップしていくという意味です。沢山の人が好奇心を持ちチームとしてイベントなどに参加すると地域はより一層盛り上がるはず。しかし、地域を盛り上げるためにできることはこれだけではないとも考えています。部活動や学校行事に真剣に取り組むこともまた地域を盛り上げることに繋がると思っています。以前桜馬場中学校、伊良木小学校、諏訪小学校の3校合同で行われた清掃活動では、地域の人に「掃除をしてくれてありがとう」などの声をかけていただき、心から嬉しく感じました。たった

一言の言葉かもしれませんが、心を豊かにしてることがわかり、温かい声かけや挨拶などが増えると地域は活性化していくのだと感じました。

ということはお祭りやボランティアなどだけではなくても地域のためになにかすることが出来るということなのです。

私は、今年最上級生となります。何事にも好奇心を持ち、学校行事だけに限らず地域の行事や挨拶にも積極的に取り組み、後輩たちにこの心構えを引き継いでいきたいと思います。私の大好きな桜馬場、そして長崎がより元気になるよう、地域活性の輪を広げていきたいと思います。

本校 教諭が、自作で作成した読み物資料「つむぎー平和への思い」を元に道徳の授業を行った後の生徒の感想を紹介しています。

つむぎー平和への思い

〇改めて嘉代子さんのことを知ったところもあって、長崎が出身である小

さい頃から平和学習をしている私たちが、「これから平和の思いを「つむぐ」ことが大切なんだと感じた。そして、たくさんの方が、原爆のこぼれ、平和の尊厳に関心を持ってほしいなと思った。

1年2組

○今被爆の実相が伝わりにくくなっているから、少しでも自分が田中安次郎さん等の話を聞き、周りの人に伝えていきたいと思った。自分が伝えることができなくても、伝えようとしている人を手伝っていききたい。

1年1組

○確かに実相が伝わりにくくなっているけど、被爆者の思いはつなげることはできるし、受け継いだ人たちが発信できると思います。

1年1組

○原爆の被害について語る人が年々少なくなっている中で、平和への思いを忘れないようにするためには「つむぐ」ことだけではなく、「つむぐ」ことが大事なんだなあと思っています。そして今まで知ろう

としていなかった点もあつたので、この学習を通して、知ることができて良かった。

1年2組

生徒会活動

3学期の目標と具体策

◆学級委員◆

3・21運動を徹底させよう。

【具体策】

1年 名前を言ったり、時計を見てもらったり訴えるように呼びかける。

2年 廊下と教室で4分前に呼びかけをする。毎日帰りの会で振り返りする。

3年 はじめは学級委員も呼びかけをし、少しずつ呼びかけを減らしていく。「1日3・21運動マスター」を選ぶ。

先生から
生徒会が自立して自主的に活動できているところが良かった。学級委員からクラス全体をしつかりとリードしてほしい。

【生徒会役員から】

初めて学級委員になった人たちも一緒に協力しながらよりよい桜中を創っていきましよう。

1年2組

◆正義の味方部◆

【目標】

クラスで落ち着いて過ごす。

【具体策】

1年・2年 昼休みに暴れている人がいたら注意する。

3年 月・金に「新虎の巻」と一緒に呼びかけを行う。

先生から

正義の味方部の取組として、書き損じはがきの回収活動が始まります。ご協力をお願いします。

【生徒会役員から】

初めて正義の味方部になった人が多いと思います。仕事をしつかり覚えて忘れずに実践していきましょう。書き損じはがきの仕事も必ず取り組みましよう。期間は、1月19日(金)～2月2日(金)です。

◆放送部◆

【目標】

冬を感じる放送をし、笑顔があらわれる内容にしよう。

先生から
笑顔になった出来事「先生インタビュー」を放送する。

【具体策】

メンバーはあまり変わらないので、引き続き頑張ります。明るく話すようにして、自分の担当を責任をもって行いましよう。

先生から

◆文化部◆

【目標】

背面黒板の整理や掲示物の管理を徹底しよう。

【具体策】

1年 はがれている掲示物や期限が切れている掲示物を貼り直す。

2年 週末に背面黒板をチェックして汚かったら整理する。

先生から

週に1回担当を決めて掃除する。

先生から

具体策をしつかり決める。新しいことを始める。

【生徒会役員から】

各学年委員長や書記なごを決めるのが遅かった

り、人が話しているときにざわざわしたりしているのが、次からは気をつけるようにしましよう。

◆図書部◆

【目標】

いろいろなジャンルの本を読もう。

【具体策】

1年 ジャンルごとにおすすめの本をポスターにして紹介する。

2年 月に1回学級文庫を交換する。

先生から

3年 学級文庫にいろいろなジャンルの本を選ぶ。

先生から

カウンター当番に確実に来るようにしてください。

先生から

朝読書をしつかり行い、本を読む習慣を付けましよう。

う。本並べを行ってください。

◆学習部◆

【目標】

学年末テストや進級に向け家庭学習に取り組もう。

【具体策】

1年 週にキュビナ100問以上か、自学2ページ、ワーク4ページをするように呼びかけ、提出していない人は昼休みに頑張る。

先生から

2年 家庭学習のフォローをつくり、回答させる。

先生から

(朝の会)ワークを各クラスで最低2ページ取り組ませる。

先生から

3年 家庭学習のフォローをつくり、回答させる。

先生から

次号で「整美部」「保健部」「生安部」「厚生部」を掲載します。

先生から

みんな、頑張れ。自治活動を推進しよよう。

先生から

次の学年につなげられるような具体策にしよう。

先生から

忘れ物をしないなど、学習部から徹底させよう。



募金活動、ありがとう